

CASE STUDY



同志社女子大学

～ あなたの夢を実現: Xythosの世界 ～

“Web経由で使用できるステキなコミュニティツール”
そんな夢を実現できたらいいと思いませんか？
答えはYESです。

同志社女子大学はNTLM認証との統合が可能なXythos
をもう使い始めています。単なるファイルサーバの時代は
終わりました。大きな夢と可能性を膨らませる事ができる
Xythosはもう、教育機関におけるデファクトスタンダードに
近づいているのです。



導入までの背景と選択の理由

最初から情報共有を考えていたのではなく、最初は誰もが使える、使いやすいオンラインストレージを探していました。“オンラインストレージを利用する際のユーザインタフェースはWebブラウザしかない”という観点から探しているとWebDAVに行き着きました。WebDAVについて色々調べていくうちに、オンラインストレージだけではなくドキュメントマネジメントまでもが実現できることに気づきました。

Xythosの優位性

以下の3点は特に優れているといえます。また、大学教育機関においてはこれらを追求しないと使い切ることができません。教員・学生のコミュニケーションツールとして使用しないともったいない製品だと思います。

1. オンラインストレージとしての活用
2. コミュニティツールとしての魅力
3. セキュリティの確保

Xythosの一番気に入っているポイント

課題提出などにおいて電子メールでのやり取りでは、かなり重いデータが送受信されています。Xythosの一番気に入っているところは、他社製品にはないEメールリンクの機能です。このソリューションで添付ファイルを一切なくすることが可能となります。例えば、学生が電子メールに課題を添付して提出しますと、quota制限で容量がすぐにオーバーしてしまいます。しかし、本学では学生・教員のコミュニティツールとしてXythosを使用することにより、そのようなトラブルの回避を策定しました。



同志社女子大学
情報システム課: 長南 敏彦様

お客様プロフィール

名称: 同志社女子大学
Doshisha Women's College of Liberal Arts

創立: 1876年

大学:
学芸学部

音楽学科
情報メディア学科
国際教養学科

現代社会学部
社会システム学科
現代こども学科

薬学部
医療薬学科

表象文化学部(2009年4月開設)
英語英文学科
日本語日本文学科

生活科学部
人間生活学科
食物栄養科学科

大学院:
文学研究科
英語英文学専攻
日本語日本文化専攻
情報文化専攻

国際社会システム研究科
国際社会システム専攻

生活科学研究科
生活デザイン専攻
食物栄養科学専攻

キャンパス:

- ・京田辺キャンパス
京都府京田辺市興戸
- ・今出川キャンパス
京都府上京区今出川通寺町西入

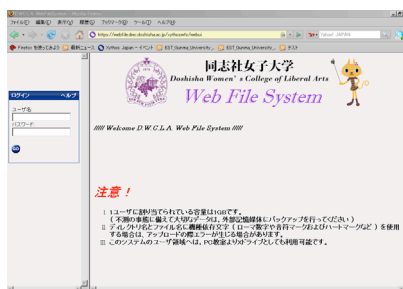
URL:
<http://www.dwc.doshisha.ac.jp>

CASE STUDY

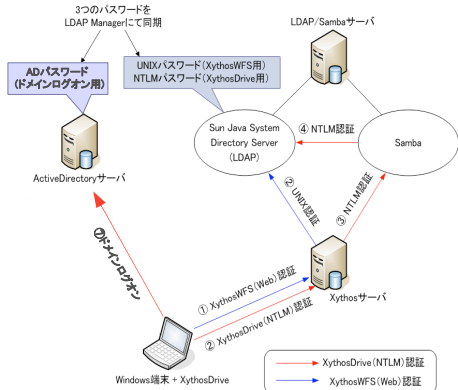
同志社女子大学

Xythos運用開始: 2007年 9月1日

Xythos利用者: 学生、教職員



Xythos Webインターフェース
ログイン画面



NTLM for SSOカスタマイズ

キャノンマーケティングジャパン株式会社様が導入を担当しました。

Xythosは学校のカラーリングに合せたLook&Feelカスタマイズが容易です。

◆ 導入効果 ◆

～ 学生サービスの側面から ～

Xythosをコミュニティツールとして学生に使用してもらうことが、学生サービスの向上につながると考えています。今後、Wikiにて情報発信を行うことや、課題提出が簡単で使いやすくシンプルなLMSを構築することなど、Xythosをコアのソリューションとしてとらえています。また、オープンIDとしてユーザIDを持ち歩き、留学先からXythosを使用したり、学生・教員の他大学との連携や各企業様との産官学連携事業等でも、将来において非常に有効なツールであるとしてとらえています。

～ 統合インフラのまとめ役 ～

学内で情報インフラの上に色々なソリューションが立ち上がると、ユーザのアクセス先が煩雑になってしまいますので、それらを統合する仕掛けが必要になります。今後はXythosをコアにしたサービス展開を考えており、なおかつ強力で有効なコミュニケーションツールとして発展させていきたいと考えています。

◆ 今後の展開 ◆

～ 海外および学外の学生へのフォロー ～

2007年4月に国際教養学科を開設しました。この学科では2年生になると全員が1年間海外へ留学します。同学科においては大学と留学先の学生とのコミュニケーションツールとして、また他学部においても学外実習先の学生へのフォロー・指導のツールなどとして、有益に活用していけるのではないかと考えています。

～ LMSの側面より ～

LMSの側面から見るとコミュニティツールとしてだけでなく、留学先での学生間の情報共有や、今後留学を控えている学生との情報共有等、活用範囲はどんどん広がると考えています。アシストマイクロ様のアドバイスをいただきながら、Xythosのソリューションを教育機関としていかに有効に使っていかせるかを、今後とも策定していきたいと考えています。

◆ 今後の期待 ◆

今後もLMS on Xythosのような新しいアイデアと夢をアシストマイクロ様と実現していきたいと思えます。例えば、本学の情報インフラとして情報共有・認証管理までつなげていけるように現段階では考えており、他のLMSや各種ソリューションとの連携を含め情報インフラのコアとしてXythosを位置づけ、教育機関におけるシンプルなコミュニティツールの展開を模索しています。

開発元



655 Montgomery Street 16th Floor
San Francisco, CA 94111
http://www.xythos.com

販売

販売元



Xythos Japan Project

アシストマイクロ株式会社

〒164-0011東京都中野区中央5-8-1朝日生命新中野ビル5F

☎ 03-5340-1603 http://www.xythos.jp

E-mail: xy_info@assistmicro.co.jp